



その35

市長は長久手をどんなまちにしたいか、そのために何に取り組もうとしているのか。その想いを市長の語り口でお伝えします。みなさんと語り合うように、一緒に未来の長久手のことを考えてみましょう。また、市HP【にょぜがもん】もぜひご覧ください。[市HPのトップページから【にょぜがもん】をクリック。]



白目の役割

「人間の目の特徴は何か？」

先日、お会いした医学博士から、興味深い質問を受けました。

他の霊長類にない人間の目の特徴は、白目があることだそうです。白目があり、黒目がはっきり強調されると、どの方向を見ているか分かってしまいます。他の動物にとって、どこを見ているか分かることは、他の動物から襲われやすくなり、大変危険なことです。

「目は口ほどにものを言う」という言葉があるように、人間は、白目があることで目に表情が生まれ、相手に気持ちを伝えたり、合図を送ったりすることができます。人間にとっては、危険を防ぐことよりも、コミュニケーションを上手くすることの方がもっと重要だったのです。

また、その博士によると、人類は、200万年前頃、道具を使うようになって、頭が急に大きくなり、直立歩行になりました。そのため、骨盤が狭くなり、赤ちゃんの頭が小さい、大変未熟な状態で出産してしまわないと、母親が危険なことになります。だから、あらゆる動物の中で、人間の子育てが、1番手間と時間がかかるのだそうです。そして驚いたことに、赤ちゃんは、お母さんのお腹の中で笑う練習をしているのだそうです。

この話を伺って、人間の進化の過程から見ても、相手の目を見て、笑顔で対応することが、コミュニケーションの基本なのだ改めて感じました。

平均寿命が延びるに従い、ケア(お世話)が必要な人も増えてきました。ケアが必要になったとき、目も合わさず、笑顔もなく、文句を言ってばかりでは、ケアする側からすると腹が立つことでしょう。

近頃は、人の目を見て話ができない人が増えていくと聞きます。これからの時代、ますます、人同士が顔を突き合わせて、コミュニケーションを図ることが必要な時代になっていくと思います。地域に暮らす多様な人同士で付き合えば、わずらわしいことも多いでしょう。

しかし、人間は一人では暮らせません。わずらわしいことがあるからこそ、地域で絆が生まれ、多様な人々が交わることで、それぞれの人に役割、たつせが生まれるのです。

「まちづくり まずは笑顔で こんにちは」

まずは、家族同士で、そして一歩踏み出してお近所で「おはようございます」のあいさつから始めましょう。



表紙の写真もう一枚

平成こども塾周辺の竹林で、タケノコ掘りを体験しました。初めてのタケノコ掘りに、子どもたちは悪戦苦闘していましたが、掘ったタケノコをその場で調理して、食べることができ、季節の自然の恵みを全身で体験することができました。

スマートフォンで広報ながくてを持ち歩こう!

App Store Google Play 「ながくて」で検索 ▶ ダウンロード



この広報紙の無断転載を禁じます。視覚障がい者のみなさんにも家族から読んであげてください。

この広報紙は、植物油インキを使用しています。

